

コンシェルジュの視点

特定医療法人 緑社会 金田病院

(財)日本医療機能評価機構認定病院 (社)日本病院会 人間ドック・健診施設機能評価認定病院

http://www.kaneda-hp.com 〒719-3193 岡山県真庭市西原 63

TEL (0867)52-1191 FAX (0867)52-1917



金田病院のさまざまな変化を
コンシェルジュがレポートしてご紹介します。
皆さまの疑問にお答えしたり、
新しい発見をお届けしていきたいと思えます。

第1回は、岡山大学医学部医学科から夏休みを活用して研修（2週間）にいられた3名の医学生の皆さまにインタビューをいたしました。

近年の医師偏在や
医師不足の解消に向けて、
県の緊急医師確保対策事業の取り組みとして、
岡山大学医学部では本年度から「地域枠コース」を導入しています。
(定員5名)

地域枠コースの方には医師免許取得後の一定期間、岡山県が指定する診療所や病院など地域の医療機関に勤務することが期待されています。

研修では医師・看護師と一緒に、診療や検査、処置、手術などの見学をされました。また、訪問診療や訪問看護に同行されたり、救急担当の医師と消防署へ行かれるなど、地域医療病院ならではの経験をされたことと思えます。



木浦賢彦さん (研修期間：8/19～26・9/1～4)

お一人目は木浦賢彦さんにインタビューいたしました。

研修中は緊張感を持って、一つひとつに真剣に取り組まれていました。

約1週間の研修を過ごされたところ、木浦さんにお話を伺いました。

「祖父母が真庭にいたいこともあり、ぜひ真庭の地域医療の現場に触れたいと思い志願しました。

まだ大学に入って間がないので学校では習っていないことばかりですが、実際に目で見て経験ができるといのはとても貴重な機会だと思います。

毎日新しいことに出会い、良い経験をさせていただいています。

先生方は患者さんの目線で考えて対応されているので大変勉強になります。」

と医療機関で初めて研修されたお気持ちをお話しくださいました。



救急棟でカルテ記入の説明を受ける木浦さん

脇地 一生さん（研修期間：9 / 7 ~ 18）

次に脇地一生さんが研修に来院されました。

脇地さんは8月に哲西診療所での研修を終えられ、「環境の異なる医療機関で研修をしたいと考えました。」と当院での研修も希望されたとのことでした。

何事にも意欲的に、そして積極的に学ばれていたご様子が印象的です。

「短い期間でほんの少しではありますが、



病棟でMRIの説明を受ける脇地さん

へき地医療や地域医療の現場を肌で感じる
ことができました。

地域枠コースを選択した私たちは、研修で経験したことや感じたことを、地域枠コースを選択されていない同級生に伝えていく役割もあるのだと思いました。」

と2週間の研修を振り返りながらお話しくださいました。

渡辺倫江さん（研修期間9 / 14 ~ 18・24 ~ 26）

そして最後に研修をされたのは、渡辺倫江さんです。

何事も楽しみながら前向きに取り組まれていた渡辺さん。

「今回の研修では医師のもとで医療技術を学ばせていただくだけではなく、医療機関全体の流れを見ることができたので、自分たちの将来のイメージ（医師）がわき、今後の学習意欲につながりました。

学習はもちろんですが、楽しむことも目標に掲げていたので、皆さんのおかげで十分に達成することができました。

たくさん経験させていただき、本当に良かったと思います。」

と明るく素敵な笑顔でお話してくださいました。



病棟看護師より説明を受ける渡辺さん

研修中には、地域の皆さまが「またこちらに戻ってきてくださいね。」や「成長される姿を応援していますよ。」と、あたたかいお言葉をかけられている場面もありました。

人に触れ、医療の現場に触れ、経験や学びを得て今までとはまた違ったお気持ちで学校に戻られることと思います。

そして今後は大学で6年間勉強され、その後2年間の初期臨床研修を経て医療の現場に立たれます。

目標に向かって歩まれる木浦さん、脇地さん、渡辺さんを心から応援していきたいと思えます。